

今月の1冊から 2018年10月～12月

10月『コドリー口のおやつ』

ロベルト・アリアーガ/文 ちば みなこ/絵 宇野 和美/訳 光村教育図書



わにのコードリー口はおなかがすいていました。ママにいったら、「ママはたまごをみていなくちゃならないの。おやつがほしいならじぶんでさがしなさい。」だって。しまうまのあしやぞうのみみやさるのしっぽをかじってみたけど、みんなに「いたーい」と言われてしまいました。しかたなく、くさや木のかわややしのみを食べてみたけど、おいしくありません。しょんぼりとママのところにかえったコードリー口にママが言いました。「・・・わたしたちがたべるのはさかなよ。」あかちゃんもうまれて、コードリー口はみんなでおやつをたべました。もちろん川のさかなをね。

11月『おふろでちゃぶちゃぶ』

文/松谷 みよ子 絵/岩崎 ちひろ 童心社



「あひるちゃん どこいくの?」「いいとこ いいとこ」
「あれ? タオルをもった ねえ どこいくの?」「いいとこ いいとこ」
「あれ? セッケンもった ねえ どこいくの?」「いいとこ いいとこ」
「わかった! おふろだ!」

さきにおふろにはいったあひるちゃんに「はやく おいで!」とよばれて、おとこのこは、「まって まって」といいながら、セーターやズボンをあわててぬいでいきます。はだかんぼになったら、ちゃぶちゃぶ ぶくぶく あひるちゃんといっしょにおふろ。おふろにはいるのがたのしくなるいっさつです。

12月『ルッキオとフリフリ はじめてのクリスマス』

庄野 ナホコ/作 講談社



ルッキオとフリフリはきょうもおなかがペコペコです。ネコカンっていうじょうとうのマグロのかんづめがあるんだって。「マグロ・・・ネコカン・・・どんなあじだらう...。」と ふたりは、マグロのかんづめのことをそぞうしてみました。そんなことをかんがえてもおなかがふくれないので、おおおやさんの家にごようがないかききにきました。その時、ふたりのめにきらきらしたきがめにとびこんできました。そこには、くつしたもかざっていました。おおやさんは、「こりゃ、クリスマスツリーだよ。くつしたは、こどもたちが サンタさんからおくりものもらえるようにさげてあるんだよ。きみたちにこれをあげよう。」とって、おかしがはいったくつしたをくれました。「クリスマスツリーをつかって、このくつしたをさげておけば、オレたちもサンタさんてひとからプレゼントをもらえるかもしれねえな。」「よし、つくろうよ、クリスマスツリー!」ルッキオとフリフリは、まつのきのえだでツリーをつくりました。そして、はまべでひろったかいがらや、うみのガラスをあつめてかざりました。「サンタさん、どうかオレたちにネコカンください。」あしたは、もう、クリスマスイブです。ルッキオとフリフリのねがいがかなうといいですね!